

俳ソサエティ「春季SKYPE句会」出句一覧

二〇二三年四月二十二日(土)午後二時～五時半

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	作 品	作 者	天	選	計
高嶺には季節戻りの春の雨	嬰兒も落下にその手伸ばしをり	春雨のソフトなタッチ地は笑う	若葉風すれちがう人きみに似て	春泥や孫らの靴の大きいなる	杉花粉たつぷり着けて山笑ふ	春雷や異国のいくきの音に似て	新緑や白寿に軽き「要支援」	友見まひ胸うち流る春の雨	絵筆手にあなたの似顔春の雨	裸から若葉もえたつビッグバン	縦のもの横にもなさず春炬燵	花びらの真珠となりぬ春の雨	春の雨海峡を越え降る黄砂	栗毬の遺句しみじみと春の雨					

「春季SKYPE句会」出句一覧
二〇二三年四月二十二日(土)

	作	品	作者	天	選	計
16	まだ客の来さう仕舞へぬ春炬燵					
17	確執を越ゆるすべなく春炬燵					
18	花繚乱いそぐ季節に我惑乱					
19	櫛の芽路地をみどりに染めてゆく					
20	春炬燵仕舞ひて今日の肌寒さ					
21	爺むさき猫背恥じよと若葉道					2/2
22	旧友の墓石尋ぬる若葉雨					
23	清明節 春の雨会ひに来ました考妣 <small>ちはは</small> に					
24	道草や夕餉の肴に野蒜摘む					

【備考】二〇二三年「春季SKYPE句会」の出句一覧です。なお誤記がありま
したら、双掌宛てメールでご指摘ください。もちろん、必要であれば一月十八日
(水)まで玉句の推敲も承ります。

【双掌】